

# 障がい者福祉のしおり



志 免 町

このしおりは、令和7年4月現在で作成しております。  
内容に変更がある場合もあります。

## 福祉施策一覧表

事業種別	事業名	障害別	視覚障害						聴覚又は平衡機能障害						音声機能障害	肢体不自由						内部障害(呼吸器機能障害含む)				知的	精神			備考		
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6		3	4	1	2	3	4	5	6	1	2	3	A	B	1	2	3	
医療について	自立支援医療の給付	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	重度障がい者医療費助成	5	◎	◎					◎	◎									◎	◎				◎	◎					中学校修了後		
	後期高齢者医療の早期適用	5	○	○	○				○	○	○					○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	65歳以上。肢体不自由4級は一部。		
	福岡県腎臓疾患者福祉給付金	6																												夜間透析を受ける方		
年金・手当等について	障害基礎年金	6																												年金手当係へ		
	障害厚生年金	6																												年金事務所へ		
	心身障害者扶養共済制度	7	◎	◎	◎				◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	任意加入		
	特別児童扶養手当	8																												年金手当係へ(20歳未満)		
	児童扶養手当	8																												年金手当係へ		
	障害児福祉手当	8																												年金手当係へ(20歳未満)		
	特別障害者手当	8																												福祉係へ(20歳以上)		
日常生活施策	障がい福祉サービス	9	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	補装具の交付・修理	11	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	障がい内容により異なる			
	軽度・中等度難聴児への補聴器助成事業	11																												手帳に該当しない難聴児		
	車いすの貸出し	11																												社会福祉協議会へ		
	日常生活用具の給付	12	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	障がい内容により異なる			
	郵便等による不在者投票制度	13															○	○				○	○	○						18歳以上		
	訪問入浴サービス	14															○	○														
	外出支援サービス	14															○	○												下肢1・2級		
	緊急通報システム設置	14	○	○					○	○						○	○				○	○								外出が困難な方		
	食の自立支援サービス	14	○	○					○	○						○	○				○	○								調理が困難な一人暮らしの方		
	手話通訳者派遣事業	14							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	郵便料金の割引	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	郵便はがき無料配布	15	◎	◎					◎	◎						◎	◎				◎	◎	◎						4月から2か月間			
	NHK受信料減免	15	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	低所得世帯等				
	携帯電話基本使用料等の割引	15	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					

◎ 障がい者(18歳以上)、障がい児(18歳未満)とも ○ 障がい者

※日常生活施策の該当者については、目安を示していますので、詳しくはお問い合わせください。

## 福祉施策一覧表

事業種別	事業名	障害別	視覚障害						聴覚又は平衡機能障害						音声機能障害			肢体不自由						内部障害(呼吸器機能障害含む)				知的		精神		備考			
			等級 ペーパー	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	3	4	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	A	B	1	2	3			
税金等の減免	所得税の控除	16	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	住民税の控除	16	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	軽自動車税の減免	16																													役場税務課へ				
	自動車税・自動車取得税の減免	16																													県税事務所へ				
	事業税の控除	16																													県税事務所へ				
	相続税の控除	16	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	税務署へ			
	贈与税の減免	16																													税務署へ				
交通機関	保育料の軽減	16	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	子育て支援課へ			
	JR運賃の割引	17	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	西鉄電車・バスの運賃割引	17	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	福岡市営地下鉄の運賃割引	18	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	国内線航空運賃の割引	18	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	12歳以上			
	タクシー運賃の割引	18	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	タクシー会社による			
	志免町福祉タクシー料金助成	19	◎	◎														◎	◎	◎			◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	在宅の場合に限る	
	自動車運転免許取得助成事業	19								○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	自動車改造助成事業	19																○	○	○	○	○	○										所得制限有り		
	有料道路通行料金の割引	20	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	第2種は本人運転の場合に限る			
	駐車禁止除外車標章	21	◎	◎	◎					◎	◎						◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	粕屋警察署へ		
	まごころ駐車場	21	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	福祉事務所へ		
相談	生活福祉資金貸付	21	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	障がい者相談支援事業	22	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	身体障がい者巡回補装具判定	22																◎	◎	◎	◎	◎	◎										年1回		
	心配ごと相談	22	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	こころの健康づくり相談	22	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	成年後見制度	23																													◎	◎	◎	◎	福岡家庭裁判所へ
	日常生活自立支援事業	23																																社会福祉協議会へ	
	法律相談	23	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				

◎ 障がい者(18歳以上)、障がい児(18歳未満)とも ○ 障がい者  
※日常生活施策の該当者については、目安を示していますので、詳しくはお問い合わせください。

## 身体障害者手帳について

身体障害者手帳は、身体障害者福祉法に定める身体上の障がいのある方に交付される手帳です。手帳には、障がい程度によって1級から6級までの等級と、第1種・第2種の種別があり、その等級・種別によって援助の内容が異なります。

### 〈対象者〉

視覚、聴覚、平衡機能、音声・言語またはそしゃく機能、肢体（上肢、下肢、体幹）、内部（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう又は直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能、肝臓）に永続する障がいのある人で、身体障害者福祉法施行規則で定められた障がいの程度等級表に該当する人。

### 〈申請に必要なもの〉

次の書類等をそろえて福祉課に申請してください。

- 身体障害者手帳交付申請書 ※役場福祉課に置いています。
- 指定医師の診断書・意見書 ※役場福祉課に置いています。
- 写真1枚（たて4cm、よこ3cm上半身を写した過去1年以内のもの）
- マイナンバーがわかるもの（マイナンバーカード、通知カード等）
- 本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）

### 〈手帳を受けられた方へ〉

次の事項に留意され、大切に所持してください。

- 手帳を他人に譲渡したり、貸したりすることはできません。
- 住所、氏名が変わった時は福祉課に届け出をしてください。
- 手帳をなくしたり、破れたりしたときや、障がい程度が変わる時は再交付の申請をしてください。
- 障がいが回復したり、その他不要になったりした時は手帳を返還してください。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 療育手帳について

療育手帳は、福岡県療育手帳要綱に基づいて交付される手帳です。知的障がいのある人（児）に対して一貫した指導相談や、各種の援助を受けやすくするために交付される手帳です。

### 〈申請窓口について〉

#### ● 18歳未満の方

福岡県福岡児童相談所に予約して、障がいの程度について判定を受けた後、福祉課へ手帳の交付申請をしてください。

#### ● 18歳以上の方

印鑑をお持ちの上、福祉課に障がい程度の判定申請をしてください。

申請後、福岡県障がい者更生相談所で障がいの程度について判定を受けてもらうことになります。判定を受けた後、福祉課へ手帳の交付申請をしてください。

### 〈交付申請に必要なもの〉

次の書類等をそろえて福祉課に申請してください。

- 療育手帳交付申請書 ※役場福祉課に置いています。
- 判定書
- 写真1枚（たて4cm、よこ3cm 上半身を写した過去1年以内のもの）
- マイナンバーがわかるもの（マイナンバーカード、通知カード等）
- 本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）

### 〈手帳を受けられた方へ〉

次の事項に留意され、大切に所持してください。

- 手帳に記載されている次回の判定日に注意して、18歳以上の方は福祉課に再判定の申請をしてください。18歳未満の方は直接、児童相談所に電話にて予約申込をし、再判定を受けてください。
- 住所や氏名が変わった時は、福祉課に届け出をしてください。
- 手帳をなくしたり、破れたりしたときは、再交付の申請をしてください。
- 交付対象者に該当しなくなったり、その他不要になったりした時は手帳を返還してください。

福岡県福岡児童相談所

TEL 092-586-0023

福岡県障がい者更生相談所

TEL 092-586-1055

## 精神障害者保健福祉手帳について

精神障がい者に対し、程度によって1級から3級までの精神障害者保健福祉手帳が交付され、各種の援助が受けられます。

### 〈申請手続きについて〉

次の書類等をそろえて健康課に申請してください。(初診日から6か月経過後に申請可)

- 申請書

- 医師の診断書または障害年金証書の写し、直近の支払い通知書または振込通知書の写し

- 写真（たて4cm、よこ3cm上半身を写した過去1年以内のもの）

- マイナンバーがわかるもの（マイナンバーカード、通知カード等）

- 本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）

### 〈手帳を受けられた方へ〉

次の事項に留意され、大切に所持してください。

- 手帳の有効期間は2年間です。

- 住所、氏名が変わった時は健康課に届け出をしてください。

- 手帳をなくした時は再交付の申請をしてください。

- 交付対象者に該当しなくなったり、その他不要になったりした時は手帳を返還してください。

⇒詳しいことは、健康課健康づくり係へ

## 医療について

### 自立支援医療（精神通院）の給付

地域における自立した生活を支援するため、精神疾患により、通院医療が継続的に必要な場合、精神通院医療の指定された医療機関において給付を受けることができます。世帯の課税状況により費用負担があります。

〈申請手続〉次の書類等をそろえて申請してください。

- 申請書
- 自立支援（精神通院）診断書（手帳と同時申請の場合は手帳用診断書）
- 障害年金等を受給中の方は、証書等の年金額がわかるもの
- 健康保険被保険者または被扶養者であることを証明する書類  
(健康保険証、資格情報のお知らせ、資格確認書等)
- マイナンバーがわかるもの（マイナンバーカード、通知カード等）
- 本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）

〈交付後に変更があった場合〉

受給者証に記載の医療機関、薬局、健康保険証、住所等が変わった時は、健康課に届け出が必要です。

⇒詳しいことは、健康課健康づくり係へ

### 自立支援医療（更生医療）の給付

18歳以上の身体障害者手帳の交付を受けている方が、その障がいの軽減・除去が可能な場合に、指定された医療機関において医療の給付（心臓手術・人工透析・肝臓移植など）を受けることができます。

更生相談所の判定が必要で、世帯の課税状況により費用負担があります。

〈申請手続〉次の書類等をそろえて申請してください。

- 申請書
- 更生医療意見書（指定医師によるもの）
- 身体障害者手帳
- 健康保険被保険者または被扶養者であることを証明する書類  
(健康保険証、資格情報のお知らせ、資格確認書等)
- 印鑑（申請者が自署できる場合は、不要）
- マイナンバーがわかるもの（マイナンバーカード、通知カード等）
- 本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）

※役場福祉課に置いています。

※役場福祉課に置いています。

〈交付後に変更があった場合〉

受給者証に記載の医療機関、薬局、健康保険証、住所等が変わった時は、福祉課に届け出が必要です。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 自立支援医療（育成医療）の給付

18歳未満の児童で、身体に障がいがある、または将来障がいを残すものとみられる疾患がある場合などで、手術等により確実な治療効果が期待されるものに対し、指定された医療機関において医療の給付を受けることができます。

世帯の課税状況により費用負担があります。

〈申請手続〉次の書類等をそろえて申請してください。

- 申請書 ※役場福祉課に置いています。
- 育成医療意見書（指定医師によるもの）※役場福祉課に置いています。
- 健康保険被保険者または被扶養者であることを証明する書類（健康保険証、資格情報のお知らせ、資格確認書等）
- 印鑑（申請者が自署できる場合は、不要）
- マイナンバーがわかるもの（マイナンバーカード、通知カード等）
- 本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）

〈交付後に変更があった場合〉

受給者証に記載の医療機関、薬局、健康保険証、住所等が変わった時は、福祉課に届け出が必要です。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 重度障がい者医療費助成制度

重度障がい者の医療費の自己負担分を助成する制度です。

〈対象者〉

- 身体障害者手帳の1級または2級の人
- 療育手帳「A」の認定を受けている人
- 療育手帳「B1」の認定があり、かつ身体障害者手帳が3級の人
- 精神障害者保健福祉手帳の1級の人（※精神病棟への入院は対象外）

※中学校卒業までは子ども医療制度が優先されます。

⇒詳しいことは、住民課年金手当係へ

## 後期高齢者医療の早期適用

後期高齢者医療の適用が65歳から受けられるようになります。

〈対象者〉

- 身体障害者手帳の1～3級の人
- 身体障害者手帳の音声・言語機能障がい4級の人
- 身体障害者手帳の下肢障がい4級の人の一部

- 療育手帳「A」の認定を受けている人
- 障害年金 1級または2級の人
- 精神障害者保健福祉手帳の1級または2級の人

⇒詳しいことは、住民課保険係へ

### 福岡県腎臓疾患患者福祉給付金（夜間人工透析）

腎臓機能障がいの手帳所持者で、就労等のため午後5時以降、月に5回以上人工透析を受けている人に対して、通院に係る交通費の一部が助成されます。

ただし、距離及び費用による制限があります。本人又は配偶者もしくは扶養義務者に一定以上の所得があるときや、生活保護受給者は支給されません。

#### 〈支給額〉

月額 2,000円（年2回に分けて支給）

⇒申請は、福祉課福祉係へ

### 年金・手当等について

※各年金・手当等は詳細な支給要件に該当する場合のみ支給されます。詳細な支給要件につきましては、各窓口までお問い合わせください。

### 障害基礎年金

国民年金加入中など65歳までに初診日のある病気・けがで、障害基礎年金の障害等級表の1級または2級に該当するときに支給されます。20歳から65歳の誕生日の前々日までに請求することが必要です。

※障害者手帳の等級と年金の等級とは、異なる法律に基づき審査が行われますので、必ずしも一致しません。

※老齢基礎年金等を受給（繰り上げ受給を含む。）中に障がい者になっても、障害基礎年金等は受けられません。

⇒詳しいことは、住民課年金手当係へ

### 障害厚生年金

厚生年金の被保険者期間中に初診日のある病気・けがで、厚生年金の障害等級表の1級から3級までに該当するときに支給されます。

※障害者手帳の等級と年金の等級とは、異なる法律に基づき審査が行われますので、必ずしも一致しません。

⇒お問い合わせは、東福岡年金事務所へ（TEL 092-651-7967）

## 心身障害者扶養共済制度

心身障がい者(児)を扶養している保護者が生存中に掛金を納付することにより、保護者が死亡又は重度の障がいとなった場合に、心身障がい者(児)に対して終身年金が支給されます。

### 〈保護者の要件〉

障がい者(児)を現に扶養している保護者で、次のすべてを満たす方

- 加入時年度4月1日時点の年齢が65歳未満であること。
- 特別の疾病又は障がいがなく、生命保険契約の対象となる健康状態であること。
- 障がい者(児)1人に対して、加入できる保護者は1人であること。

### 〈障がい者(児)の範囲〉

- ① 知的障がい者(児)
- ② 身体障害者手帳1～3級
- ③ 精神又は身体に永続的な障がいのある方(統合失調症、脳性麻痺、進行性筋萎縮症、自閉症、血友病等)で、①または②と同程度の障がいを有すると認められる方

### 〈掛金〉

加入年齢に応じて掛金が異なります。2口まで加入できます。

加入時年度の年齢(4月1日時点)	掛金月額(1口あたり)
35歳未満	9,300円
35歳以上40歳未満	11,400円
40歳以上45歳未満	14,300円
45歳以上50歳未満	17,300円
50歳以上55歳未満	18,800円
55歳以上60歳未満	20,700円
60歳以上65歳未満	23,300円

※掛金月額は制度改正により変更されることがあります。

※世帯の課税状況に応じて掛金の減免制度があります。

※掛金の全額が所得税及び住民税の対象となる所得から控除されます。

### 〈年金の支給〉

加入保護者が死亡または重度障がいと認められたときは、その月から障がい者(児)に対し、次の年金が支給されます。

1口加入	月額 20,000円
2口加入	月額 40,000円

### 〈弔慰金等の支給〉

1年以上加入した後に、加入者よりも先に心身障がい者が死亡したときは、加入期間に応じ弔慰金が支給されます。

### 〈脱退一時金の支給〉

5年以上加入した後にこの制度から脱退したときは、加入期間に応じ脱退一時金が支給されます。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

### 特別児童扶養手当

20歳未満で、精神または身体に政令で定める程度以上の障がいがある児童の父母または養育者に支給されます。ただし、定められた額以上の所得がある場合や、施設入所者には支給されません。

#### 〈支給額〉

1級（月額） 56,800円

2級（月額） 37,830円

※障害者手帳の等級と手当の等級とは必ずしも一致しません。

⇒詳しいことは、住民課年金手当係へ

### 児童扶養手当

父（母）が施行令に定める程度の障がいの状態（障害年金1級程度）にあり、児童（18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者、障がい児は20歳未満）を監護している母（父）又は母（父）に代わってその児童を養育している人に支給されます。※定められた額以上の所得がある場合は支給されません。

⇒詳しいことは、住民課年金手当係へ

### 障害児福祉手当

20歳未満であって、政令で定める程度の重度の障がい状態にあるため、日常生活において常時の介護を要する児童に支給されます。ただし、対象児童が施設に入所している場合、本人または配偶者及び扶養義務者に一定以上の所得があるときは支給されません。

#### 〈支給額〉 月額 16,100円

⇒詳しいことは、住民課年金手当係へ

### 特別障害者手当

20歳以上であって、障がいが重複するなど著しく重度の障がいにより、日常生活において常時特別の介護を必要とする方に支給されます。

ただし、長期入院（3か月以上）や施設に入所している場合、本人や扶養義務者に一定以上の所得がある場合は、支給されません。

#### 〈支給額〉 月額 29,590円

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 日常生活を便利にするために

### 障がい福祉サービス

障がい福祉サービスは、個々の障がい者（児）の障がい程度や勘案すべき事項（社会活動や介護者、居住等の状況）をふまえ、個別に支給決定が行われます。

サービスには、介護の支援を受ける「介護給付」と訓練等の支援を受ける「訓練等給付」、障がい児を対象とした「障害児通所給付」等があり、それぞれ利用の際のプロセスが異なります。

※サービス申請を希望される方は「サービス等利用計画案」を役場に提出する必要があります。

※介護保険の対象者は、介護保険のサービスが優先されます。

### 〈利用できるサービス〉

介護給付	居宅介護(ホームヘルプ)	自宅で入浴・排せつ・食事の介護、家事援助等を行います。
	重度訪問介護	重度の肢体不自由者、または重度の行動障がいを有する人で、常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴・排せつ・食事等の介護、家事援助、外出時における移動などの介護を総合的に行います。
	行動援護	知的障がいまたは精神障がいにより、自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援・移動の支援を行います。
	重度障害者等包括支援	介護の必要性がとても高い人に、居宅介護等複数のサービスを包括的に行います。
	同行援護	外出時において視覚障がい者に同行し、移動に必要な情報を提供、移動の支援等を行います。
	短期入所 (医療型・福祉型)	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設で、入浴・排せつ・食事の介護等を行います。
	療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で、機能訓練・療養上の管理・看護・介護及び日常生活の世話を行います。
	生活介護	常に介護を必要とする人に、昼間、入浴・排せつ・食事の介護等を行うとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供します。
	施設入所支援	施設に入所する人に、夜間や休日、入浴・排せつ・食事の介護等を行います。

訓練等給付	自立訓練 (機能訓練・生活訓練)	自立した日常生活または社会生活ができるよう、一定期間、身体機能または生活能力の向上のために必要な訓練を行います。
	就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
	就労継続支援 (A型=雇用型、 B型=非雇用型)	一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。
	就労定着支援	就労に伴う課題が生じている方に対し、相談や連絡調整など必要な支援を行います。
	自立生活援助	定期的な訪問により生活面の課題や体調を確認し、必要な助言や連絡調整を行います。
	共同生活援助 (グループホーム)	夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、入浴・排せつ・食事の介護等を行います。

地域生活支援事業	移動支援 (ガイドヘルプ)	屋外での移動が困難な障がいのある人について、外出のための支援を行います。
	地域活動支援センター	障がいのある人が通い、創作的活動または生産活動の提供、社会との交流の促進等を行います。
	日中一時支援 (日中ショートステイ)	障がい者等の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担軽減を図るため、障がい者等の日中における活動の場を確保し、一時的に見守り等の支援を行います。

障害児通所給付	児童発達支援	主に未就学の障がい児に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を行います。
	医療型児童発達支援	未就学の障がい児に児童発達支援及び治療を行います。
	居宅訪問型児童発達支援	外出が困難な重度の障がい児に対し、居宅を訪問し、基本的な動作の指導や知識技能の付与等の支援を行います。
	放課後等デイサービス	就学中の障がい児に、授業の終了後又は夏休み等の休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等を行います。
	保育所等訪問支援	保育所等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援等を行います。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

障害児入所支援	入所している障がいのある児童に、保護、日常生活の指導及び独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行います。
---------	---

⇒お問い合わせは、福岡県福岡児童相談所へ (TEL 092-586-0023)

## 補装具の交付・修理

身体障害児（者）、難病患者等の失われた身体機能を補完し又は代替し、かつ、長時間にわたり継続して使用される用具の交付・修理・借受けをする場合に補装具費を支給しています。補装具の種類によって、医師の意見書や障がい者更生相談所の判定が必要な場合があります。世帯の課税状況により費用負担があります。

### 〈申請手続きについて〉

次の書類等をそろえて福祉課へ申請してください。

●補装具交付・修理・借受け申請書（※）

●補装具交付・修理・借受け意見書及び処方箋（※）

（指定医師によるもの。補装具の種類で様式が異なります。）

●見積書

●身体障害者手帳

●マイナンバーがわかるもの（マイナンバーカード、通知カード等）

●本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）

（※）は役場福祉課に置いています。

### 補装具の種類及び対象となる障がい

障がい種別	補装具
視覚	・義眼・眼鏡・視覚障がい者安全つえ
聴覚	・補聴器（人工内耳修理を含む）
内部障がい	・☆車いす・☆電動車いす
肢体不自由	・義肢・装具・座位保持装置・☆車いす・☆電動車いす ・☆歩行補助つえ・☆歩行器・◎座位保持いす ・◎起立保持具・◎頭部保持具・◎排便補助具
肢体不自由かつ 言語機能障がい	重度障害者用意思伝達装置

※◎の品目は、障がい児のみ対象となります。

※☆の品目は、介護保険の保険給付の対象となる品目のため、介護保険でのサービスが優先されます。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費の助成

身体障害者手帳の交付の対象とならない軽度または中等度の難聴児が用いる補聴器の購入に要する費用の全部又は一部を助成します。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 車いすの貸出し

町内に居住する在宅で生活している方を対象に、1ヶ月の車いすの無料貸し出しを行っています。障害者手帳の有無は問いません。

⇒お問い合わせは、志免町社会福祉協議会へ（TEL 092-937-3011）

## 日常生活用具の給付

在宅の重度障がい者(児)、難病患者等に対して、日常生活の便宜を図るため、障害等級などに応じて日常生活用具の給付があります。世帯の課税状況により費用負担があります。

### 〈申請手続きについて〉

次の書類等をそろえて福祉課へ申請してください。

- 日常生活用具給付申請書
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・特定医療費（指定難病）受給者証
- 見積書

### 日常生活用具の種類及び対象者

区分	種目	対象者
介護訓練支援用具	特殊寝台☆	下肢・体幹機能障がい、難病患者
	特殊マット☆	下肢・体幹機能障がい、知的障がい、難病患者
	体位変換器☆	下肢・体幹機能障がい、難病患者
	特殊尿器☆	下肢・体幹機能障がい、難病患者
	入浴担架	下肢・体幹機能障がい
	移動用リフト☆	下肢・体幹機能障がい、難病患者
	訓練いす(児童のみ)	下肢・体幹機能障がい
自立生活支援用具	訓練用ベッド	下肢・体幹機能障がい、難病患者
	入浴補助用具☆	下肢・体幹機能障がい、難病患者
	便器☆	下肢・体幹機能障がい
	T字状・棒状の杖	平衡機能、下肢・体幹機能障がい
	移動・移乗支援用具☆	平衡機能、下肢・体幹機能障がい、難病患者
	頭部保護帽	平衡機能、下肢・体幹機能障がい てんかんの発作等により頻繁に転倒する知的障がい児(者)・精神障がい児(者)
	特殊便器	上肢障がい、知的障がい、難病患者
	火災警報器	火災発生の感知・避難が困難な障がい者
	自動消火器	
	電磁調理器	視覚障がい、知的障がい
在宅療養等支援用具	歩行時間延長信号機用小型送信機	視覚障がい
	聴覚障害者用屋内信号装置	聴覚障がい
	透析液加温器	じん臓機能障がい
	ネブライザー	
	電気式たん吸引器	呼吸器機能障がい、難病患者
	吸引・吸入両用器	
	酸素ポンベ運搬車	在宅酸素療法者
	視覚障害者用体温計	視覚障がい
	視覚障害者用体重計	
	動脈血中酸素飽和度測定器	難病患者

情報・意思疎通支援用具	携帯用会話補助装置	音声言語機能障がい、肢体不自由者であって発声発語に著しい障がいを有する者
	情報・通信支援用具	上肢機能障がい、視覚障がい
	点字ディスプレイ	視覚及び聴覚の重複障がい
	点字器	
	点字タイプライター	
	視覚障害者用ポータブルレコーダー	
	視覚障害者用活字文書読上げ装置	視覚障がい
	視覚障害者用拡大読書器	
	視覚障害者用時計	
	視覚障害者用音声 IC タグレコーダー	
	聴覚障害者用通信装置	
	聴覚障害者用情報受信装置	
	人工内耳用電池	
	人工内耳用充電器	
	人工喉頭	喉頭摘出者
排泄管理支援用具	ストマ装具、紙おむつ等（紙おむつ、洗腸用具、サラシ、ガーゼ等衛生用品）	ストマ造設者、高度の排便排尿機能障がい者、脳原性運動機能障がいでかつ意思表示困難者
	収尿器	高度の排尿機能障がい
住宅改修費	居宅生活動作補助用具☆	下肢、体幹機能障がい、乳幼児期非進行性脳病変による運動機能障がい、難病患者
点字図書	点字図書	視覚障がい

※ ☆の品目は、介護保険の保険給付の対象となる品目のため、介護保険でのサービスが優先されます。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

### 小児慢性特定疾病児の日常生活用具

慢性疾患を抱える子どもに対して、日常生活の利便のための日常生活用具の購入に要する費用を助成します。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

### 郵便等による不在者投票

「郵便等による不在者投票」の制度があります。両下肢、体幹または移動機能の障がいで1・2級、内部（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸）の障がいで1級または3級及び免疫または肝臓の障がいで1級から3級までの方が対象です。

⇒詳しいことは、志免町選挙管理委員会へ

## 訪問入浴サービス

在宅の重度身体障がい者で、自宅での入浴が困難な方を対象として巡回入浴車による入浴サービスが受けられます。利用回数は月8回以内で、世帯の課税状況により費用負担があります。

### 〈申請手続きについて〉

次の書類をそろえて福祉課へ申請してください。

●訪問入浴サービス利用申請書

●診断書・入浴可否意見書（志免町障害者訪問入浴サービス事業用）

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 外出支援サービス

通院または入退院、施設の入退所の際に、一般の交通機関を利用することが困難な障がい者（下肢障がい1・2級）に対して、リフト付自動車で自宅と目的地との間を移送します。利用回数は1月につき4回を限度としています。（片道30km以内）

⇒申請は、福祉課福祉係へ

## 緊急通報システム設置

緊急時における連絡手段の確保が難しい一人暮らしの障がい者（おおむね18歳以上の身体障害者手帳等級1・2級で、外出が困難な方）に、緊急通報装置を貸与し、家庭内で急病などの緊急事態に、迅速適切な対応が図れるようにするものです。

⇒申請は、福祉課福祉係へ

## 避難行動要支援者台帳の登録

障がいがある方など、災害時に避難することが困難で支援が必要な方を事前に把握し、円滑な支援に役立てるため、避難行動要支援者台帳への登録案内をしています。

⇒詳しいことは、生活安全課へ

## 食の自立支援サービス

調理をすることが困難な一人暮らしの重度身体障がい者などに対して、自宅まで弁当を配達することにより、利用者の自立と生活の質の確保を図るとともに、利用者の安否確認を行います。

### 〈利用料〉 1食につき250円補助

⇒申請は、福祉課へ

## 手話通訳者派遣事業

手話通訳を必要とする聴覚・音声言語障がい者に対して手話通訳者を派遣し、社会参加の支援を行います。

⇒申請は、福祉課福祉係へ

## 読書バリアフリーサービス

町民図書館には、耳で聞く本（CDなどの録音図書）や点字本、大活字本があります。来館できない場合、文字の読み上げ機能や拡大機能が付いた「しあわせ電子図書館」もあります。ぜひご利用ください。

⇒詳しいことは、町民図書館へ

## 郵便料金の割引

盲人用の点字等郵便物、点字ゆうパック（点字図書などを内容とするゆうパック）、聴覚障がい者用ゆうパック（聴覚障がい者用ビデオテープを内容とするゆうパック）等、郵便料金の割引があります。

⇒詳しいことは、郵便局へ

## 郵便はがき無料配布

重度の心身障がい者（身体障害者手帳1・2級、療育手帳A）1人に対して、郵便はがきを20枚まで無料配布します。申込は毎年4月から5月までの間です。

⇒詳しいことは、郵便局へ

## NHK放送受信料の減免

次の対象となる場合に、受信料の減免が受けられます。

【全額免除】身体障害者手帳・療育手帳・精神障害保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方で、市町村民税非課税の世帯

【半額免除】次のいずれかに該当する方が、世帯主かつ受信契約者の場合

- ・身体障害者手帳（視覚、聴覚障がい）をお持ちの方
- ・身体障害者手帳（1・2級）をお持ちの方
- ・療育手帳（A）をお持ちの方
- ・精神障害者保健福祉手帳（1級）をお持ちの方

⇒申請は、福祉課福祉係へ

## 携帯電話使用料等の割引について

障がい者に対し、携帯電話の基本使用料等の割引をしています。各電話会社により申込方法、割引内容が異なります。

### 〈対象者〉

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを交付されている方

⇒詳しいことは、各携帯電話取扱店へ

## 税金等の減免、所得控除などについて

種類	内 容	窓口・TEL番号
所得税	(障害者控除) 身体障害者手帳3～6級、療育手帳B 精神障害者保健福祉手帳2～3級  (特別障害者控除) 身体障害者手帳1～2級、療育手帳A 精神障害者保健福祉手帳1級	香椎税務署 (661-1031)
住民税	(障害者控除) 身体障害者手帳3～6級、療育手帳B 精神障害者保健福祉手帳2～3級  (特別障害者控除) 身体障害者手帳1～2級、療育手帳A 精神障害者保健福祉手帳1級	町税務課
軽自動車税	受付期間等、詳細は右記へお尋ねください。	町税務課
自動車税 自動車取得税		東福岡県税事務所 (641-0236)
事業税	両眼の視力（矯正視力）が0.06以下の人に行 うあんま、鍼、灸等医業に類する事業	東福岡県税事務所 (641-0146)
少額貯蓄等の 利子の非課税	身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者 精神保健福祉手帳所持者 障害年金受給者等	銀行等の金融機関
相続税	(障害者控除) 身体障害者手帳3～6級、療育手帳B 精神障害者保健福祉手帳2～3級  (特別障害者控除) 身体障害者手帳1～2級、療育手帳A 精神障害者保健福祉手帳1級	香椎税務署 (661-1031)
贈与税	特定障害者に対する贈与で一定条件の下に信託 銀行等に信託する場合	
保育料の軽減 について	町の認可保育園、認定こども園、小規模保育施 設の利用者に対し、保育料の軽減制度があります。 〈対象者〉身体障害者手帳・療育手帳・精神障害 者保健福祉手帳の交付を受けている生計同一者 がいる世帯	子育て支援課

⇒問い合わせは、各窓口へ

## 運賃割引等について

### JR九州（鉄道）の運賃割引について

#### 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳 第1種

対象	種類	割引率	備考
本人（単独時）	普通乗車券	5割引	片道101km以上利用の場合
介護者と一緒に乗車 (本人・介護者に適用)	普通乗車券 回数券 普通急行券	5割引	距離制限なし
	定期券	5割引	介護者は通勤定期乗車券が適用

#### 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳 第2種

対象	種類	割引率	備考
本人（単独時）	普通乗車券	5割引	片道101km以上利用の場合
介護者と一緒に乗車 (本人・介護者に適用)	定期券	5割引	12歳未満の障がい児の介護者は通勤定期乗車券が適用

※乗車券を購入するときは、窓口で身体障害者手帳または療育手帳を提示してください。

※JR九州バスも割引制度があります。

⇒お問い合わせは、JR九州案内センター（TEL 0570-04-1717）

問い合わせ時間(年中無休)9時～17時30分

### 西鉄電車・バスの運賃割引について

#### 身体障害者手帳・療育手帳 第1種／精神障害者保健福祉手帳1級

対象	種類	割引率
本人 (12才以上)	ICカード、普通乗車券、現金、定期券	5割引
本人 (12才未満)	ICカード、普通乗車券、現金	5割引
介護者	ICカード、普通乗車券、現金	5割引
	定期券	通勤定期券の5割引

#### 身体障害者手帳・療育手帳 第2種／精神障害者保健福祉手帳2級・3級

対象	種類	割引率
本人 (12才以上)	ICカード、普通乗車券、現金、定期券	5割引

本人 (12才未満)	ICカード、普通乗車券、現金	5割引
介護者	定期券	通勤定期券の5割引

※ 乗車券を購入するときは、窓口で身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を提示してください。

⇒お問い合わせは、西鉄お客様センター (TEL 0570-00-1010) へ  
問い合わせ時間(年中無休)8時～20時

### 福岡市営地下鉄の運賃割引について

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳いずれかをお持ちの方

対象	種類	割引率	割引特記事項
本人	普通乗車券、定期券	5割引	
介護者	普通乗車券、定期券	通勤定期券の 5割引	次の障がい者の介護者が適用 身体障害者手帳（1級～3級） 療育手帳A 精神障害者保健福祉手帳（1級）

※ 乗車券を購入するときは、窓口で身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を提示してください。

⇒お問い合わせは、天神お客様サービスセンター (TEL 092-734-7800) へ  
問い合わせ時間(年中無休)8時～20時

### 国内線航空運賃の割引

満12歳以上の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者が利用される場合は、手帳提示により本人及び介護者（1名まで）について各航空会社の定める割引運賃で利用できる場合があります。ご搭乗当日に手帳の有効期間が満了している場合には割引対象となりません。

⇒お問い合わせは、各航空会社へ

### 船舶運賃の割引

障がい者に対する割引がありますが、船舶会社により対象者、割引率が異なりますので、利用される船舶会社へお問い合わせください。

⇒お問い合わせは、各船舶会社へ

### タクシー運賃の割引

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者がタクシーを利用するときに、手帳を提示することで、タクシー運賃の割引（運賃の1割を割引します。）が受けられる場合があります。

⇒お問い合わせは、各タクシー会社へ

## 志免町福祉タクシー料金助成

在宅の障がい者に対し福祉タクシー利用券を交付し、タクシー（普通車）の初乗り運賃分（年間36枚を限度）を助成します。

※5月以降に申請の場合は、過ぎた月数×3枚ずつを差し引いた枚数になります。

### 〈対象者〉

- 身体障害者手帳の交付を受けている方で、次のいずれかに該当する方
  - ・視覚1・2級
  - ・下肢、体幹機能障がい1～3級
  - ・下肢、体幹機能障がい4級以下で、他の障がいにより複合で1・2級
  - ・内部障がい1級
- 療育手帳A判定の方
- 精神障害者保健福祉手帳1～3級の方
- 特定医療費（指定難病）受給者証の交付を受けている方
- 小児慢性特定疾患受給者証を持っている方

### 〈申請手続きについて〉

次の書類をそろえて福祉課へ申請してください。

- 身体障害者手帳
- 療育手帳
- 精神障害者保健福祉手帳
- 特定医療費（指定難病）受給者証
- 本人の印鑑

※代理の方が申請される場合は、上記に加え、代理の方の本人確認書類と印鑑も必要です。

⇒申請は、福祉課福祉係へ

## 自動車運転免許取得費助成

自動車運転免許の取得により就労等が見込まれる身体障がい者・知的障がい者が免許取得を行う場合に、事前審査により助成対象となった方に対し、費用の一部（上限10万円）を助成します。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 自動車改造費助成

就労等のため、身体障がい者自らが所有し運転する自動車の運行上に必要な改造を行う場合に、事前審査により助成対象となった方に対し、費用の一部（上限10万円）を助成します。ただし、所得制限があります。

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

## 有料道路通行料金の割引

有料道路を通行する際、通常料金の半額を割り引くものです。自動車を所有していない方や車検などで通常と異なる自動車で移動する場合等でも、有料道路の割引が受けられます。

※この制度を利用する場合は、事前の手続が必要です。

※利用する際は身体障害者手帳又は療育手帳を携行してください。

### 〈対象者〉

次のどちらかの場合が対象となります。

- ・介護者が運転し、身体障害者手帳又は療育手帳を交付された方のうち、重度の障がいがある方が同乗する場合（第1種）
- ・身体障害者手帳を交付された本人が運転する場合（第2種）

### 〈登録方法〉

#### ● ETCノンストップ走行を希望しない場合

福祉課で登録手続ができます。次のものをご準備ください。

- ・身体障害者手帳又は療育手帳
- ・免許証（第2種の記載がある手帳をお持ちの本人が運転する場合）

#### ● ETCノンストップ走行を希望する場合

オンライン又は福祉課のどちらかで登録手続ができます。

福祉課での手続を希望する場合は、次のものをご準備ください。

- ・身体障害者手帳又は療育手帳
- ・ETCカード（障がい者本人名義のもの※18歳未満は親権者等名義でも可）
- ・ETC車載器セットアップ申込書・証明書等車載器の管理番号が確認できるもの
- ・免許証（第2種の記載がある手帳をお持ちの本人が運転する場合）
- ・車検証（※登録できる自動車は、障がい者1人につき1台です。本人、配偶者、直系血族及びその配偶者、兄弟姉妹及びその配偶者、同居の親族等が所有するものが原則です。2年以上の割賦契約や長期リースの車の場合は登録が可能ですので契約書が必要になります。）

※オンライン手続きは、マイナンバーカードをお持ちで、かつ、マイナポータルに登録されている方が対象となります。「有料道路における障害者割引オンライン申請」のサイトから手続をしてください。

### 〈有効期間〉

- ・初めて又は有効期間を過ぎて手続きをする場合  
手続きが終了した日からその後の2回目の誕生日まで
- ・更新の場合（有効期限の2か月前から前日まで）  
手続きが終了した日からその後の3回目の誕生日まで

⇒詳しいことは、福祉課福祉係へ

### 駐車禁止除外指定車標章

交付対象に該当する障がいがある方で、このステッカーを受け車両の見やすいところに掲示している車両は、駐車禁止場所（法定の駐車禁止場所、駐停車禁止場所等を除く）に他の交通の妨げにならない限り駐車できます。

⇒お問い合わせは、粕屋警察署へ（TEL 092-939-0110）

### ふくおか・まごころ駐車場制度

障がいがある方や高齢の方、妊産婦の方など、車の乗り降りや移動に配慮の必要な方が、公共施設、店舗等の障がい者等用の駐車場などに車をとめ、安全かつ安心して施設を利用できるように支援する制度です。



⇒お問い合わせは、粕屋保健福祉事務所へ（TEL 092-939-1592）

### 貸付金等について

#### 生活福祉資金の貸付

福岡県社会福祉協議会を実施主体とし、それぞれの世帯の状況に応じて貸付制度があります。障がい者世帯を対象とした貸付には障がい者用自動車の購入経費、福祉用具等の購入経費等がありますが、それぞれ貸付要件があります。

⇒お問い合わせは、志免町社会福祉協議会へ（TEL 092-937-3011）

## 相談等について

### 障がい者相談支援事業

障害者総合支援法により、志免町では障がいのある方及び家族の方などに対する相談支援事業を、指定相談支援事業所に委託して行っています。(裏表紙参照)

専任の職員が地域での生活の相談をお受けし、福祉サービスの紹介や支援を行います。相談料は無料で、プライバシーは厳守します。相談に行かれる前に、必ず事業所の職員に連絡をしてください。

⇒連絡先は、裏表紙をご覧ください。

### 身体障がい者巡回補装具判定

県との共催により年1回、糟屋郡内（志免・宇美・粕屋・須恵・篠栗・久山）6町で「補装具費支給の要否判定」を行っています。日時及び場所は「広報しめまち」等を通じてお知らせします。

⇒詳しくは、福祉課福祉係へ

### 心配ごと相談

民生委員・児童委員、主任児童委員が、日常生活上の心配や悩みなどに対して相談に応じています。個人のプライバシーなどについては固く守るよう義務づけられていますので、お気軽に相談ください。

### 〈日時及び場所〉

日時 毎月第2・4水曜日（10時～12時・13時～15時）

場所 役場 福祉課横（応接室4）

⇒詳しくは、福祉課高齢者サービス係へ

### こころの健康づくり相談

精神保健福祉士が、身近な人には話しづらい、こころの健康についての悩み相談に応じます。

〈電話相談〉 092-937-2777（月曜日～金曜日・9時～17時）

〈面談相談〉日時 毎月第2木曜日の午後

場所 ふれあいセンター（健康課）

※ 健康課 092-935-1484 に事前予約が必要です。

⇒詳しくは、健康課健康づくり係へ

### 成年後見制度について

知的障がい、精神障がい、認知症などによって判断能力が不十分な方が、社会で不利益を受けることがないように、法律面、生活面で支援をする制度です。

⇒詳しくは、

福岡家庭裁判所後見センター (TEL 092-981-9606)

公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート福岡支部 (TEL 092-738-1666)

### 日常生活自立支援事業について

知的障がい、精神障がい、認知症などによって福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安がある方のお手伝いをする制度です。

⇒詳しくは、志免町社会福祉協議会へ (TEL 092-937-3011)

### 法律相談（司法書士・弁護士）

専門相談として司法書士・弁護士が相談に応じています。

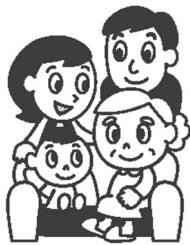
毎月第2・4木曜日（10時～12時：司法書士、13時～15時：弁護士）に受け付けていますが、事前に電話予約が必要です。秘密は厳守します。

⇒お問い合わせ・予約は、志免町社会福祉協議会へ (TEL 092-937-3011)

**関係機関住所録**

<公的機関>

名 称	住 所	電話番号	F A X
志 免 町 役 場	志免町志免中央一丁目 1 番 1 号	092-935-1001	092-935-9459
福祉課 福祉係		092-935-1038	
福祉課 高齢者サービス係		092-935-1039	
健康課 健康づくり係		092-935-1484	
住民課 年金手当係		092-935-1077	
志 免 町 立 町 民 図 書 館	志免町志免中央一丁目 3 番 1 号 (ふれあいセンター3階)	092-935-1007	092-935-3152
志 免 町 社 会 福 祉 協 議 会	志免町大字志免 451 番地 1	092-937-3011	092-936-9067
福 岡 県 粕 屋 保 健 福 祉 事 務 所	粕屋町戸原東 1 丁目 7 番 26 号	092-939-1500	092-939-1186
福 岡 県 障 が い 福 祉 課	福岡市博多区東公園 7 番 7 号	092-643-3262	092-643-3304
福 岡 県 福 岡 児 童 相 談 所	春日市原町 3 丁目 1 番地 7	092-586-0023	092-586-0044
福 岡 県 障 が い 者 更 生 相 談 所	同 上	092-586-1055	092-586-1065
福 岡 県 精 神 保 健 福 祉 セ ン タ 一	同 上	092-582-7510	092-582-7505
東 福 岡 年 金 事 務 所	福岡市東区馬出 3 丁目 12 番 32 号	092-651-7967	092-641-4049
福 岡 県 東 福 岡 県 税 事 務 所	福岡市東区箱崎 1 丁目 18 番 1 号 粕屋総合庁舎 2 階	092-641-0201	092-641-0136
香 椎 税 務 署	福岡市東区千早 6 丁目 2 番 1 号	092-661-1031	
粕 屋 警 察 署	粕屋町大字上大隈 147 番地 1	092-939-0110	
ハ ロ 一 ワ ー ク 福 岡 中 央	福岡市中央区赤坂 1 丁目 6 番 19 号	092-712-8609	092-711-1192



## 不安なこと、分からないことなど… なんでも相談してください！！

指定相談事業所	主な対象者
<p>◎相談支援センター ゆい</p> <p>〒811-2501 久山町大字久原 1869 TEL 092-976-2377(代) FAX 092-976-1309 相談日時 月曜～金曜・8時～17時</p>	身体障がい者 知的障がい者 障がい児
<p>◎障害者在宅介護支援センター（志免町社会福祉協議会） (通称:相談支援センターすまいる)</p> <p>〒811-2292 志免町志免中央1-1-1(役場福祉課内) TEL 092-935-1049 FAX 092-935-2467 E-mail zaikai@town.shime.fukuoka.jp 相談日時 月曜～金曜・8時30分～17時</p>	身体障がい者 知的障がい者 精神障がい者 障がい児 (高校生以上)
<p>◎かけはし</p> <p>〒811-2241 志免町東公園台2-8-5 TEL 092-517-4202 092-519-4340(相談専用) FAX 092-936-2450 相談日時 月曜～金曜 (来所相談・電話相談)・9時～17時 土曜 (来所相談)・10時～16時</p>	精神障がい者

<p>◎こども発達相談（しめっこ相談）</p> <p>〒811-2292 志免町志免中央1-1-1(役場福祉課内) TEL 092-937-6181(相談直通)</p> <p>相談日時 月曜～金曜 8時30分～16時30分</p>	発達が気に なるお子さん (0才～18才) とその保護者
<p>◎聴覚障がい者用 FAX（志免町役場福祉課）</p> <p>FAX 092-935-2051</p>	聴覚障がい者